

智頭急行株式会社の業務及び財務に関する資料について

鳥取県情報公開条例第38条第2項の規定により、次の資料を閲覧に供します。

〒689-1402

鳥取県八頭郡智頭町智頭2052-1

智頭急行株式会社

代表取締役社長 西尾 浩一

0 8 5 8 - 7 5 - 6 6 0 0

閲覧資料

- 定 款 (2026年6月2日現在) …… 1 P ~ 4 P
- 役員名簿 (2026年6月2日現在) …… 5 P
- 事業報告 (2025年度分) …… 6 P ~ 1 3 P
- 貸借対照表 (2025年度分) …… 1 4 P
- 損益計算書 (2025年度分) …… 1 5 P
- 株主資本等変動計算書 (2025年度分) …… 1 6 P

○定 款

第 1 章 総 則

(商号)

第 1 条 当社は、智頭急行株式会社と称する。

(目的)

第 2 条 当社は、次の事業を営むことを目的とする。

- (1) 地方鉄道業
- (2) 不動産賃貸業、不動産売買業及び不動産管理業
- (3) 旅行業
- (4) 広告業
- (5) 食堂、喫茶店の経営並びに飲食料品及び日用雑貨品の販売
- (6) 収入印紙及び郵便切手の売りさばき
- (7) 酒類及びたばこの販売
- (8) 前各号に付帯関連する一切の事業

(本店)

第 3 条 当社は、本店を鳥取県八頭郡智頭町に置く。

(公告)

第 4 条 当社の公告は、電子公告とする。

<http://www.chizukyu.co.jp>

ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、官報に掲載する。

第 2 章 株 式

(発行する株式の総数)

第 5 条 当社の発行する株式の総数は、20,000株とする。

(額面株式 1 株の金額)

第 6 条 当社の発行する額面株式の 1 株の金額は、50,000円とする。

(株券の種類)

第 7 条 当社の発行する株式は、すべて記名式とし、株式の種類は、1 株券、10株券及び100株券の 3 種類とする。

(株式の譲渡制限)

第 8 条 当社の株式を譲渡する場合は、取締役会の承認を受けなければならない

い。

(株主の住所、氏名及び印鑑の届出)

第9条 当会社の株主、株式の登録質権者及び信託財産の受託者又はその法定代理人若しくは代表者は、当会社所定の書式により、住所、氏名及び印鑑を当会社に届け出なければならない。これを変更したときもまた同様とする。

2 前項の届出を怠ったため生じた損害については、当会社はその責めに任じない。

(株式の取扱)

第10条 当会社の株式の名義書換、質権の登録、信託財産の表示、株券の再発行、その他株式の取扱いに関する手続き及びその手数料については、取締役会が定める。

(株主名簿の閉鎖及び基準日)

第11条 当会社は、毎決算期の翌日からその決算期に関する定時株主総会終結の日まで株主名簿の記載の変更を停止する。

2 前項に定めるもののほか必要あるときは、あらかじめ公告して、臨時に株主名簿の記載の変更を停止し、又は基準日を定めることができる。

第3章 株主総会

(株主総会の招集)

第12条 当会社の定時株主総会は、決算期から3箇月以内に招集し、臨時株主総会はその必要がある場合に随時招集する。

(招集者及び議長)

第13条 株主総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議に基づき取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故ある時は、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

(招集地)

第14条 株主総会は、本店所在地又は鳥取県、岡山県若しくは兵庫県地内において開催する。

(決議方法)

第15条 株主総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、出席した株主の議決権の過半数をもってこれを決する。

(議決権の代理行使)

第16条 株主が代理人により議決権を行使しようとするときは、その代理人は代

理権を証する書面を当会社に提出しなければならない。

(議事録)

第17条 株主総会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、議長並びに出席した取締役が記名押印し、会社に保存する。

第4章 取締役、監査役及び取締役会

(役員)

第18条 当社の取締役は20名以内、監査役は3名以内とする。

2 取締役及び監査役が任期中に退任しても、その法定員数を欠かないときは、補欠選任を行わないことができる。

(役員を選任)

第19条 取締役及び監査役は、株主総会において選任する。

2 取締役及び監査役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数で行う。

3 取締役の選任については、累積投票によらないものとする。

(任期)

第20条 取締役の任期は、就任後2年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとし、監査役の任期は、就任後4年以内の最終の決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。

2 補欠又は増員によって就任した取締役の任期は、他の取締役の残任期間とする。

3 補欠によって就任した監査役の任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第21条 取締役会の決議により、顧問を置くことができる。

(代表取締役及び役付取締役)

第22条 当社に取締役会長1名、取締役副会長2名、取締役社長1名、必要に応じて専務取締役及び常務取締役若干名を取締役会の決議により選任することができる。

2 当社の業務は取締役社長が統括し、専務取締役及び常務取締役は取締役社長を補佐し、定められた事務を分掌する。

取締役社長に事故あるときは、取締役会の決議をもってあらかじめ定めた順序により他の取締役が取締役社長の職務を代行する。

3 当社を代表すべき取締役は、取締役会の決議により選任する。数人を選出

した場合には、各自当会社を代表する。

(取締役)

第23条 取締役は、取締役会を組織し、会社の業務執行を決定する。

2 取締役会は、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役社長がこれを招集し、かつ、議長となる。ただし、取締役社長に事故あるときは、あらかじめ取締役会の決議をもって定めた順序に従い、他の取締役がこれにあたる。

3 取締役会の招集通知は、会日より3日前までに発するものとする。ただし緊急の必要がある場合には、その期間を短縮することができる。

(取締役会の決議方法等)

第24条 取締役会の決議は、取締役の過半数が出席し、その過半数をもって決する。

2 取締役会の議事については、議事録を作成し、これに議事の経過の要領及びその結果を記載し、出席した取締役及び監査役が記名押印し、会社に保管する。

(役員報酬)

第25条 取締役及び監査役の報酬総額は、株主総会において各別に決定し、その配分は、取締役の報酬については取締役会において決定し、監査役の報酬については監査役の協議によって決定する。

第5章 計 算

(営業年度及び決算期)

第26条 当会社の営業年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとし、毎営業年度末日を決算期とする。

(利益配当金)

第27条 利益配当金は、毎営業年度末日の株主名簿記載の株主又は登録質権者にこれを支払う。

2 利益配当金は、その支払提供の日から3年を経過しても受領されないときは、当会社は支払の義務を免れるものとする。

○役員名簿

(2026年6月2日現在)

取締役会長	平井 伸治	取締役	萩原 誠司
取締役副会長	守本 真一		江見 秀樹
	尾崎 祐子		梅田 修作
代表取締役社長	西尾 浩一		吉岡佐和子
代表取締役常務	稲田 雅也		井上 裕章
取締役	深澤 義彦	監査役	丸山 明則
	矢部 啓祐		
	金兒 英夫		広田 一恭
	青木 秀樹		三宅 智章

○第40期（2025年度）事業報告

I. 営業の概況

【業務執行状況】

輸送の安全確保を最優先に全社員が一丸となって取組み、無事故で終了いたしました。

1 輸送人員

(1) 特急列車 776,879人

特急列車の輸送人員は、776,879人(前期比106.2%)と前期を45,255人上回りました。

列車別では、スーパーはくと号は585,546人(前期比107.2%)と前期を39,569人上回り、スーパーいなば号は191,333人(前期比103.1%)と前期を5,686人上回りました。大阪・関西万博及び名探偵コナンミステリーツアーの影響により、前期を上回る結果となりました。

(2) 普通列車 197,686人

普通列車の輸送人員は、197,686人(前期比98.1%)と前期を3,861人下回りました。

《輸送人員》

(単位：人、%)

区 分		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第40期累計
スーパー はくと	人 員	129,580	154,758	159,299	141,909	585,546
	乗車率	35.3	40.6	41.6	40.5	39.5
	前期比	109.2	114.5	107.5	98.6	107.2
スーパー いなば	人 員	43,142	47,997	53,291	46,903	191,333
	乗車率	35.4	38.3	42.7	39.1	38.9
	前期比	104.0	104.3	103.9	100.1	103.1
特急列車 合 計	人 員	172,722	202,755	212,590	188,812	776,879
	乗車率	35.4	40.1	41.8	40.1	39.4
	前期比	107.9	111.9	106.5	98.9	106.2
普通列車	人 員	51,573	49,107	51,579	45,427	197,686
	前期比	99.6	96.4	98.8	97.5	98.1

2 収支状況

(1) 営業収益 2,839,903,362円

営業収益は、2,840百万円(前期比103.5%)と前期より95百万円の増となりました。

ア. 旅客運輸収入 1,448,438,501円

旅客運輸収入は、1,448百万円(前期比106.6%)と前期と比較して、大阪・関西万博及び名探偵コナンミステリーツアーの影響により輸送人員が増加したことにより、89百万円の増となりました。

イ. 運輸雑収 1,391,464,861円

運輸雑収は、1,391百万円(前期比100.4%)と前期並みに推移し、前期より6百万円の増となりました。

(2) 営業費用 2,687,808,058円

営業費用は、2,688百万円(前期比107.6%)と前期と比較して、給与表改定及び新規社員採用に伴う人件費の増加に加え、高架橋修繕等に伴う修繕費の増加等により、189百万円の増となりました。

(3) 営業利益 152,095,304円、経常利益 218,313,219円

営業利益は、152百万円と前期より94百万円の減益となり、経常利益は、218百万円と前期より37百万円の減益となり、前期に引き続き、3期連続の黒字となりました。

なお、国及び自治体からの補助金等を計上する特別損益を加味した税引前当期純利益は260百万円となりました。

(4) 収支状況

(単位：円、%)

区 分		第40期(2025年度)	第39期(2024年度)	前年度比	前年度差額
収入	営業収益	2,839,903,362	2,744,869,127	103.5	95,034,235
	旅客運輸収入	1,448,438,501	1,359,133,667	106.6	89,304,834
	運輸雑収	1,391,464,861	1,385,735,460	100.4	5,729,401
費用	営業費用	2,687,808,058	2,498,684,713	107.6	189,123,345
	人件費	609,184,917	567,023,798	107.4	42,161,119
	修繕費	986,291,750	815,473,405	120.9	170,818,345
	動力費	346,299,685	353,968,817	97.8	△7,669,132
	経 費	400,689,667	426,229,528	94.0	△25,539,861
	諸 税	57,492,926	55,496,033	103.6	1,996,893
	減価償却費	287,849,113	280,493,132	102.6	7,355,981
営業損益		152,095,304	246,184,414	61.8	△94,089,110
営業外収益		72,764,903	21,272,069	342.1	51,492,834
営業外費用		6,546,988	12,356,918	53.0	△5,809,930
経常損益		218,313,219	255,099,565	85.6	△36,786,346
特別利益		101,966,529	127,054,069	80.3	△25,087,540
特別損失		59,965,467	74,349,353	80.7	△14,383,886
税引前当期純損益		260,314,281	307,804,281	84.6	△47,490,000
法人税等		66,213,200	44,223,800	149.7	21,989,400
当期純損益		194,101,081	263,580,481	73.6	△69,479,400

3 運転計画等

2026年3月のダイヤ改正を3月14日に実施し、JRとのダイヤ調整により普通列車のJR山陽線・因美線との接続時間を見直す輸送改善を実施しました。

4 輸送の安全確保のための取組み

(1) 乗務員の資質管理

列車の運転を行う乗務員に対しては、必要な知識および技能を保有するための教育・訓練を実施しました。

- ① 教育及び訓練については、年間6回(12時間)を計画的に実施しました。
- ② 適性の確認については、今年度40名中9名の適性検査を実施し、検査の結果が運転を行うのに支障がないことを確認しました。
- ③ 知識及び技能の確認については、指導職が添乗等を行うことにより実施

しました。

(2) 緊急事態に備えた訓練

万が一、不測の事態が発生した時に、冷静かつ迅速・的確に対応できるよう、日ごろからさまざまな訓練を実施しました。

- ① 毎年鉄道事故が発生した際の併発事故防止、お客様の避難誘導、復旧作業等を迅速確実に行うために「総合事故対応訓練」を実施しました。
- ② 直通運転を行うJR西日本と異常時の対応手順の確認を目的に上郡駅～岩木信号場間で信号機故障等を想定した「異常時合同訓練」を実施しました。

(3) 警察・消防等との連携

異常時等の際に、警察・消防と連携してお客様の避難誘導等を行うために訓練を実施しました。

- ① トンネル内で列車に車両火災が発生した場合の対応手順を確認するため「トンネル内列車火災避難誘導訓練」を実施しました。
- ② 鉄道テロが発生したと想定し警察・消防との連携を意識した「テロ対策合同訓練」を実施しました。

(4) 設備の安全対策

〔主な修繕の状況〕

(単位：千円)

	主な工事	金額	補助事業
線路	智頭トンネル路盤修繕	22,614	
	馬々瀬高架橋修繕	48,900	補
	恋山形・智頭間レール交換	16,307	補
	上郡・石井間土木構造物定期検査	10,850	
	小計	98,671	
電気	岩木・河野原円心間通信ケーブル緊急修繕	12,000	
	小計	12,000	
車両	HOT7000冷房装置整備工事	23,636	
	HOT3500系重要部検査工事	28,755	
	小計	52,391	
	合計	163,062	

〔主な設備投資の状況〕

(単位：千円)

	主な工事	金額	補助事業
電気	あわくら温泉・恋山形間外ATS-P装置更新(注1)	55,670	補
	あわくら温泉信号装置改良	16,900	補
	恋山形電気融雪器改良	15,500	補
	小計	88,070	
車両	HOT7000系エンジン(8台)	46,560	
	小計	46,560	
	合計	134,630	

※主な修繕及び主な設備投資については、10,000千円以上の工事を記載しています。

注1：ATS-P(自動列車停止装置P形)は、列車の速度を連続的にチェックし、停止(赤)信号や制限速度を超えて異常な運転をされることの無いよう自動でブレーキをかけて停止、減速させる装置

5 主な企画きっぷの発売状況等

JR西日本と連携の企画きっぷの「東京往復割引きっぷ」の発売状況は、前年同期を下回り、第40期累計においては16.9%の減となりました。

智頭急行独自の企画きっぷにつきましては、普通列車で通年ご利用頂ける「智頭線普通列車1日乗車券」が、前期を大きく下回りました。その他の「優ユウきっぷ」、「特殊回数乗車券」は、いずれも前期を上回りましたが、「楽ラクきっぷ」は前期を下回りました。

(1) JR西日本と連携

従来の特例企画きっぷ（カッコ内は第39期(2024年度)比）

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第40期累計	前期からの増減
東京往復割引きっぷ	433枚 (92.7%)	388枚 (86.8%)	452枚 (84.6%)	317枚 (68.3%)	1,590枚 (83.1%)	△322枚

(2) 智頭急行独自

普通列車関係（カッコ内は第39期(2024年度)比）

企画きっぷ	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第40期累計	前期からの増減
智頭線普通列車 1日乗車券(5月から発売) 大人 2,000円 小児 1,000円	132枚 (49.1%)	180枚 (45.3%)	169枚 (45.9%)	172枚 (99.4%)	653枚 (54.1%)	△554枚
特殊回数乗車券 3,000円 (100円券/33枚綴り)	34冊 (147.8%)	27冊 (192.9%)	32冊 (133.3%)	27冊 (81.8%)	120冊 (127.7%)	26冊
楽ラクきっぷ (70歳以上の方) 2,500円 (100円券/33枚綴り)	11冊 (50.0%)	5冊 (25.0%)	6冊 (35.3%)	8冊 (47.1%)	30冊 (39.5%)	△46冊
優ユウきっぷ (運転免許返納者) 1,500円 (100円券/33枚綴り)	43冊 (148.3%)	33冊 (110.0%)	37冊 (123.3%)	31冊 (182.4%)	144冊 (135.8%)	38冊

6 第40期の鉄道運転事故等について

(1) 鉄道運転事故の発生状況

発生はありませんでした。

(2) インシデントの発生状況

発生はありませんでした。

(3) 輸送障害の発生状況（運休または30分以上の遅延）

- ・ 部外原因によるものが、4月1件、5月2件、6月1件、7月2件、8月3件、9月1件、10月1件、11月1件、12月2件、1月2件、2月3件
(JR線内の列車遅延の影響)
- ・ 部内原因によるものが、6月1件、2月1件（車両の不具合）
9月1件（水害）、12月2件、1月2件（雪害）

(4) その他

発生事象	バッテリー電圧低下によりエンジンが始動できず走行不能となった
発生日時	2026年2月9日（月）午前7時15分頃
発生場所	上郡駅～苔縄駅間
概 況	上郡発大原行き普通列車は、上郡駅停車中に室内灯の一部が消灯する不具合を認め、一時的に電源を供給するスイッチを扱い、室内灯を点灯させ上郡駅を発車したところ、上郡駅～苔縄駅間を走行中に再度室内灯が一部消灯しブレーキが動作して停車した。停車後エンジンを停止させたところ再始動できなくなってしまったため、以降の運転を継続することはできないと判断し、救援列車を手配して大原基地に収容した。この影響により、特急列車4本、普通列車1本が全区間運転休止となった他、普通列車6本が上郡駅～佐用駅間で運転休止となった。なお、故障した列車にご乗車のお客様はタクシー等で代行輸送した。
対 応	点検の結果、エンジンが始動できなかった原因は降積雪により充電発電機のベルトの掛かりが悪くなり充電できなくなりバッテリー電圧が低下したことによるものであることが判明したが、その予兆で室内灯が一部消灯した際の取り扱いについての対応マニュアルに車両点検を実施する等の明確なルールがなかったため、マニュアルの見直しを行った。

7 利用促進に向けた取組みについて

(1) 名探偵コナン鳥取ミステリーツアーPRイベント

名探偵コナン鳥取ミステリーツアーの販売促進を目的に、ミステリーツアーの魅力と鳥取県の観光の魅力をステージや抽選会などを通じて駅利用者に伝えるイベントに参加しました。

○実施日 2025年7月13日(日) 10:00～16:00

○実施場所 大阪ステーションシティ ノースゲートビル2F 「アトリウム広場」



(2) 会社案内等パンフレット制作について

会社案内、恋山形駅、あまつぼしの3種類のパンフレットを最新の情報を取り入れ、新たに制作しました。今後の利用促進に向け活用して参ります。



【会社に対処すべき課題】

(1) 安全な鉄道

- ① 「狭義のヒューマンエラー」と「不安全行動」の理解
- ② エラー分析
- ③ 異常時の対応力向上

(2) 愛される鉄道

- ① お客様のために動く
- ② 地域とともに動く
- ③ 社員が自ら動く

(3) 健全な会社経営

- ① コスト意識を高める
- ② 稼ぐ力の強化

【営業成績及び財産状況の推移】

区 分	第37期	第38期	第39期	第40期
営業収益(千円)	2,204,269	2,470,843	2,744,869	2,839,903
当期純損益(千円)	△8,490	163,019	263,580	194,101
1株当り当期純損益(円)	△943	18,113	29,287	21,567
資産合計(千円)	5,690,494	5,821,893	6,092,986	6,302,098
営業係数	106.3	96.7	91.0	94.6

II. 会社の概況（2026年3月31日現在）

1 主な事業内容

鉄道事業法による旅客の運送業及びこれに附帯又は関連する事業

2 主な事業所

本社 鳥取県八頭郡智頭町智頭
運輸部 鳥取県八頭郡智頭町智頭
大原事業所 岡山県美作市古町

3 株式の状況

期末の株式の状況は、次のとおりであります。

- ① 会社が発行する株式の総数 20,000株
- ② 発行済株式の総数（額面普通株式） 9,000株
- ③ 1株の金額 50,000円
- ④ 株主総数 45名
- ⑤ 株主 別掲のとおり

なお、当社の大株主への出資はありません。

4 社員の状況

	社員数 (人)	前期末比増減 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続年数 (年月)
総務部	12	3	45.6	21年 11ヶ月
運輸部	70	△1	41.5	16年 3ヶ月
合計	82	2	42.1	17年 1ヶ月

※常勤役員(2人)、契約社員(6人)を除く

貸借対照表

2026年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部	6,302,098,151	負債の部	328,554,696
流動資産	4,646,612,591	流動負債	328,554,696
現金・預金	2,071,713,304	未払金	233,914,472
未収運賃	456,304,976	未払費用	7,823,075
未収入金	89,287,638	未払法人税等	48,651,300
未収収益	2,250,263	預り金	2,287,644
有価証券	1,566,421,719	前受運賃	1,451,135
貯蔵品	431,181,012	前受収益	18,221,870
前払費用	29,453,679	未払消費税等	16,205,200
固定資産	1,634,275,091		
鉄道事業固定資産	1,631,708,201		
有形固定資産	1,597,265,301		
無形固定資産	34,442,900	純資産の部	5,973,543,455
投資等	2,566,890	資本金	450,000,000
出資金	500,000	利益剰余金	5,523,543,455
差入保証金	1,900,000	利益準備金	2,700,000
預け金	166,890	その他の利益剰余金	5,520,843,455
繰延資産	21,210,469	別途積立金	2,520,000,000
開発費	21,210,469	固定資産圧縮積立金	2,800,000,000
		繰越利益剰余金	200,843,455
資産合計	6,302,098,151	負債・純資産合計	6,302,098,151

損 益 計 算 書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

	科 目	金 額	
経 常 損 益 の 部	鉄道事業営業利益		
	営業損益の部		
	営業収益		
	旅客運輸収入	1,448,438,501	
	運輸雑収	1,391,464,861	2,839,903,362
	営業費		
	運送費	2,144,448,493	
	案内宣伝費	3,669,190	
	厚生福利施設費	2,638,458	
	一般管理費	191,709,878	
	諸税	57,492,926	
	減価償却費	287,849,113	2,687,808,058
	鉄道事業営業損益		152,095,304
	営業外損益の部		
	営業外収益		
受取利息	31,814,560		
受取配当金	10,000		
雑収入	40,940,343	72,764,903	
営業外費用			
繰延資産償却	4,118,653		
雑支出	2,428,335	6,546,988	
經常損益		218,313,219	
特 別 損 益 の 部	特別利益		
	固定資産売却益	67,271	
	補助金	101,899,258	101,966,529
	特別損失		
	固定資産除去損	11,075,758	
固定資産圧縮損	48,889,709	59,965,467	
	税引前当期純損益		260,314,281
	法人税等		66,213,200
	当期純損益		194,101,081

株主資本等変動計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

	株主資本										新株予約権	評価・換算差額等	株主資本合計	純資産合計
	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計					
	資本金	資本準備金		別途積立金	その他利益剰余金		繰越利益剰余金							
		資本準備金	その他資本剰余金		固定資産圧縮積立金	利益剰余金								
前期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,390,000,000	2,670,000,000	266,742,374	0	5,779,442,374	0	0	5,779,442,374	5,779,442,374	
当期変動額														
剰余金の配当									0			0	0	
剰余金の配当に伴う利益準備金の積立て									0			0	0	
積立金の積立					130,000,000	130,000,000	△260,000,000		0			0	0	
役員賞与の支給									0			0	0	
過年度税効果調整額									0			0	0	
当期純損益							194,101,081		194,101,081			194,101,081	194,101,081	
当期変動額合計	0	0	0	0	130,000,000	130,000,000	△65,898,919	0	194,101,081	0	0	194,101,081	194,101,081	
当期末残高	450,000,000	0	0	2,700,000	2,520,000,000	2,800,000,000	200,843,455	0	5,973,543,455	0	0	5,973,543,455	5,973,543,455	